



レジ袋削減 キャンペーン実施中!

レジ袋は1年間に約300億枚(1人1日約1枚)がごみになっています。また、容器包装全体の量では、容積で家庭ごみの6割を超えています。国では、容器包装ごみを削減するため、マイバッグ(「もったいないバッグ」と呼んでいます)やふろしきを持参してレジ袋を断ることを呼びかけています。

全国で年間300億枚がごみに!



マイバック運動を展開



レジ袋の削減で、ごみの減量にも効果的

レジ袋有料化 議論始まる

今年4月、容器包装リサイクル法が改正され、小売業者にレジ袋削減の取組みが義務づけられました。事業者、消費者、行政などが、これまで、レジ袋を辞退された方へのサービスの還元やマイバック運動の推進など、それぞれの立場からレジ袋の削減に取り組んできましたが、残念ながら大きな成果を上げるにいたっていないことから、県では、それぞれの立場を超えて、相互に連携しながら、力を合わせてレジ袋の削減を推進するため、このたび県レジ袋削減推進協議会を発足しました。

社会的な機運が高まっている「レジ袋有料化」についても検討協議を進められることになっています。

市では、すぐにごみとなるレジ袋の削減を図るため、より一層、マイバック運動を推進し、ごみの排出抑制と減量化に努めます。

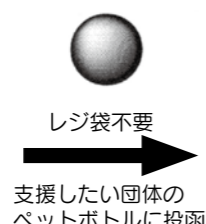
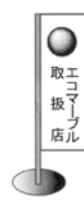
ここで、市内の団体で取り組んでいる事例を紹介します。

滑川市女性団体連絡協議会に加盟する団体では、「マイバッグ持参運動」を推進し、ごみの減量化に取り組んでいます。

リデュース
Reduce
物を大切にしよう。
ごみを減らそう。

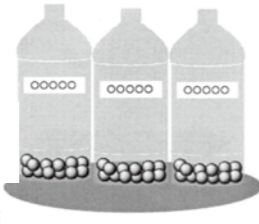
「マイバッグ」運動を推進(エコマーブル事業)

地球にやさしい生活のはじめの一步、
「マイバッグ」を持つお買い物から初めてみませんか。



レジ袋不要

支援したい団体の
ペットボトルに投函



本数により
活動資金を提供

滑川市連合婦人会
滑川市児童クラブ連合会
滑川街づくり工房

マイバッグを推進するため滑川市小売商業連合会では、エコマーブル事業を展開しています。

- ①マイバッグなどでお買物され、レジ袋を不要とされた方に「エコマーブル」(ビー玉)を渡します。
- ②実施店に設置した上記団体のペットボトルに「エコマーブル」を投函します。
- ③「エコマーブル」の数に応じて、その団体へ活動資金(1本500円)として提供します。(実施店舗数13店)

今日から始めよう エコ生活

どれだけ
へらせるの?



近年、地球規模の環境問題である地球温暖化が深刻化しており、人類共通の最重要課題の一つとなっております。こうした課題を解決するためには、私たち一人ひとりが地球温暖化について理解を深め、地球温暖化防止に向けた行動を始めることが必要です。

みなさんでもできることから始めてください

冷房は室温28℃を目安に温度設定をしましょう。 節約金額 700円(1シーズン)

減るもの	●10週間で	●1年間で
二酸化炭素	2.1 kg	10.9 kg
お 金	129 円	700 円

冷房機器は不必要なつけっぱなしをしないようにしましょう。 節約金額 400円(1シーズン)

減るもの	●10週間で	●1年間で
二酸化炭素	1.3 kg	6.8 kg
お 金	79 円	400 円

お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い炊きをしないようにしましょう。 節約金額 5,700円

減るもの	●10週間で	●1年間で
二酸化炭素	15.4 kg	80.2 kg
お 金	1,094 円	5,700 円

電気ポットなどの電化製品を長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜きましょう。 節約金額 3,700円

減るもの	●10週間で	●1年間で
二酸化炭素	11.7 kg	60.7 kg
お 金	712 円	3,700 円

経済速度を心がけ、急発進、急加速をしないようにしましょう。 節約金額 3,200円

減るもの	●10週間で	●1年間で
二酸化炭素	12.4 kg	64.4 kg
お 金	619 円	3,200 円

外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用するようにしましょう。

減るもの	●10週間で	●1年間で
二酸化炭素	17.8 kg	92.5 kg
お 金	769 円	4,000 円

資料：内閣府国民生活局

問合せ先 生活環境課(内線322)